

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (腫瘍内科・リハビリテーションユニット)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。			
2	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 ・がん医療の倫理と患者の立場に立った医療の意味を理解する。	C	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)
III. 医学および関連領域の知識と応用			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
4	病因と病態 ・多臓器にわたる腫瘍・問題を理解する。 ・原発不明がんの概念を説明できる。 ・原発不明がんの予後良好なサブグループについて説明できる。 ・性腺外胚細胞腫の特殊性を説明できる。 ・腫瘍緊急症の病態を列挙できる。	B	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)
7	疫学、統計 ・がんの疫学を理解する。		
IV. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な診療を実施できる。			
1	医療面接を実施できる。 ・原発不明がんの鑑別方法を説明できる。	F	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)
6	検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。 ・腫瘍緊急症の原因とアセスメント方法について説明できる。	C	
7	治療計画を提案できる。 ・原発不明がんの概治療方針を説明できる。 ・性腺外胚細胞腫の治療方針を説明できる。 ・腫瘍緊急症の治療について説明できる。 ・がん化学療法の理論と実際を理解する。 ・化学療法の概念とその一般的な施行方法を説明できる。 ・化学療法薬の分類・その特質・副作用を説明できる。	D	
11	Shared decision making (SDM) を実践できる。 ・リハビリテーションの理念、種類について理解する。	F	

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (腫瘍内科・リハビリテーションユニット)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションプログラム, リハビリテーションチームについて理解する。 ・理学療法への適応, 種類, 技術を理解する。 ・作業療法への適応, 種類, 技術を理解する。 ・言語聴覚療法への適応, 種類, 技術を理解する。 ・脳血管疾患のリハビリテーションについて考察し, 理解する。 ・脊髄損傷, 骨関節疾患, 切断肢のリハビリテーションについて考察し, 理解する。 ・廃用症候群, 内部障害, 悪性腫瘍のリハビリテーションについて考察し, 理解する。 ・神経筋疾患のリハビリテーションについて考察し, 理解する。 ・小児疾患のリハビリテーションについて考察し, 理解する。 ・がん緩和医療を理解する。 ・がん治療と並行して行われる緩和医療の重要性を理解する。 		
V. 社会と医療			
<p>千葉大学医学部学生は, 卒業時に 個人と社会のつながりを理解し, 社会と医療の発展のために, 以下のことができる。</p>			
2	<p>保健・医療・福祉に必要な資源を活用し, 連携・協働ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん医療の均てん化についての取り組みについて説明できる。 ・地域医療機関との連携の仕組みについて説明できる。 ・リハビリテーションの継続の重要性について理解できる。 	F	<p>基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)</p>